

愛川町消防団第二分団 人情火消し

平成23年度
春号(第8号)

発行 愛川町消防団第二分団
編集 人情火消し編集委員会



平成二十四年一月七日 消防出初式

分団長あいさつ

高峰地区の皆様方におかれましては、日ごろから第二分団の消防団活動につきまして、格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年三月十一日の大震災から早いもので一年が経とうとしており、ゆつくりとはありますが、着実と復興へ向けて歩んでいるところかと思えます。

しかし、この震災では、地域防災を担う消防団員が住民の安全確保のため、必死に避難誘導や警戒を行い、二五〇人以上の方が亡くなりました。

このような大規模災害では、行政も被災して機能しないことがあり得ること、自ら動かないと解決できないことがあること、個々では災害に即応できないことがあるため、今後想定される大規模災害に備えるためには、地域の結束がなにより重要であろうかと思われ

ます。
私たち消防団員は、高峰地区の皆様方が安心して暮らしていただけるよう、消火活動に関する技術習得や、地震や風水害といった自然災害時における救助・防衛訓練を行い、日々の研鑽に努めてまいります。

また、皆様方の自主防災意識を高めていただくために、消火器の点検、火災予防週間での特別警戒や、広報・啓発活動についても取り組んでまいります。

今後とも、地域防災の要として、各行政区の自主防災組織と連携を図り、安全・安心なまちづくりを目指して消防団活動を行ってまいりますので、引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

愛川町消防団第二分団

分団長 高橋篤史

副分団長 関根和浩

第二分団第一部（三増区）



皆様こんにちは、三増区を管轄する第二分団第一部です。

高峰地区の皆様におかれましては、日ごろから消防団活動にご理解とご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、今回は、毎年五月に行われます牛松山八十八夜祭についてご紹介いたします。

牛松山八十八夜祭とは？

三増の三栗山にある三松（牛松、天狗松、信玄松）の一つで、三増の消防団が管理している牛松の地において、昔、五月の八十八夜にこの地の近隣の老若男女が装いも新たに相集まり、また、兵士として国の守りにつく若者たちが万感の想いをこめて歌い踊り交流をした行事がありました。

これを惜しみ、末長く後世に語り継ぐことを目的として、消防団のOBの方や町内会の皆様をお招きし、牛松山に登り、当時の消防団の活動などをお聞きしたりして交流を図る行事として引き継いでいます。

第二分団第一部では、より様々な方にこの牛松山を知っていただけたら、ハイキングコースの草刈りなどをを行い、日々整備に努めています。



平成二十三年度の主な活動

四月	性能検査、牛松山ハイキングコースの清掃
五月	牛松山八十八夜祭、ゴミゼロクリーンキャンペーン
六月	団員研修
七月	諏訪神社祭りの警戒、育成会盆踊り警戒
八月	団員研修他
九月	諏訪神社祭りの警戒、防災訓練、三増合戦祭りの警戒
十月	団員研修他
十一月	秋の火災予防運動
十二月	歳末火災特別警戒、消火器点検
一月	消防出初式、どんど焼き警戒
二月	団員研修他
三月	春の火災予防運動

その他毎月十日、二十日、三十日には、消防機械等の点検を行っています

団員募集集中

現在、共に活動していただける団員を募集しております。

区内に適正に団員配置をすることで、防災体制の拡充を図りたいと考えておりますので、ご理解ご協力を願っています。

第二分団第二部（小沢区）



愛川町消防団
第二分団第二部
Aikawa Town
Volunteer Fire Corps
II - II

皆様こんにちは。小沢地域を管轄している第二分団第二部の広報委員です。

防災訓練に参加して…

消防団としては、火災発生時に重要な初期消火に必要な消火器の使用法の説明や、小型ポンプを使用した放水を多くの参加者の方に体験していただきました。

震災後初の防災訓練ということもあり、初の試みで、災害発生時に各班の所定の場所に集合して安全確認をする方法など、大変勉強になりました。



防災訓練に参加していただくことにより、更なる防災意識の向上や、火災時の初期対応知識の習得など、大きな意味があります。

住民の皆様一人一人が初期対応を正確に把握できれば、被害の軽減をすることが出来ます。



災害時の迅速な初期対応も必要ですが、危険を感じたら身の安全を第一に考えて避難してください。



大規模な災害に備えて、日ごろから訓練や器械器具の点検・教育訓練・講習会などに積極的に参加し、我々第二分団第二部は、地域の皆様が安心して安全な暮らしを送れるように日々精進します。

また、災害時は、頼れる者たちになれるよう努力し、団員同士、常に同じ使命感を共有できる環境を作り、これからも地域に密着した消防団になれるように、自信と誇りを持って消防団活動に励んでいきますので、これからも指導のほどよろしく願っています。

第二分団第三部（箕輪区）



ごあいさつ

皆様こんにちは。箕輪地区を管轄しています第二分団第三部です。

日ごろより、箕輪区の皆様におかれましては消防団活動へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。

これからも地域と密着した活動を展開して、皆様方から頼りにされる消防団を目指していきたいと考えておりますので、よろしく願います。

さて、今回は箕輪区内で行われた行事に対するチョットしたうんちくと活動報告をさせていただきます。

どんど焼き

どんど焼き（左義長）は一月十五日の小正月に、松飾り・書き初めなどを一か所に積み上げて燃やし、その高く上る煙に乗って正月の神様が帰るとい、お正月の行事です。

言い伝えでは、この火にあたると若返るとか、ここで焼いた団子を食べると病気をしない・虫歯にならないとか、燃やした書き初めの紙が高く舞い上がると習字が上手くなり勉強ができるとか言われています。・・・すごい良い事ばかりのイベントですねえ！

箕輪区では例年一月に下箕輪育苗センター横の広場と弊山河川敷で行っており、消防団は、火の粉が周囲に飛んで火災が起らないよう、お子さんが火傷をしないよう、常に目を配り、警戒を行っています。



箕輪区盆踊り

盆踊りは精霊を迎え亡くなった方を供養するための行事で、夏休みの間の大きなイベントの一つです。

この行事は、昔は今と違って遊びも限られていたので、娯楽と地域の結束を強める役割があり、夜通し行われていたそうです。

昨年の八月六日に下箕輪農村公園で箕輪区盆踊りが開催され、消防団も警戒や模擬店のお手伝いをして大盛況でした。



【団員募集中】

第二分団第三部では、消防団員を募集しています。漠然とでも、「何か地域に貢献したい」、「災害対策に興味があるんだけど」、「新しい出会いが欲しい」という方、一緒に活動しませんか？

第二分団第四部（角田区）



「仲間とともに...」

部長 高橋 誠

皆様こんにちは。角田区を管轄している第二分団第四部部長の高橋です。

角田区民の皆様には、日ごろより私たちの活動に對しましてご協力をいただいておりますこと、改めてお礼を申し上げます。私事で恐縮ですが、私は消防団に入団して十四年が経過しようとしています。こうやって長く活動できたのも、数多くの仲間たちの支えがあったからこそと思っています。

仕事も、年齢も考え方も様々

な人間が集まって、訓練で汗を流し、時にはその仲間と酒を飲んだり雑談したり...それが何よりも楽しくて、あつという間に、時間が過ぎていきました。今回は昨年十月に入団した団員の紹介をさせていただきます。入団員にも、ぜひ仲間とともに楽しんでもらいたいと思います。



新入団員紹介

大山 伸二 団員

十月に第二分団第四部に入団させていただきました。大山と申します。

三年前に戸倉に引っ越してきました。消防団は人命救助に携わる仕事なので、誇りを持って取り組めることや、地域の人たちと繋がりが、社会貢献できることにとてもやりがいを感じている次第です。

消防団活動に必要な知識や技能を、団員の先輩方は一生懸命に教えてくれます。

私も「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき、地域の方々の期待に応えられ、頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。





消火器の破裂事故にご注意を！

消火器の破裂事故が発生しています。原因は老朽化した消火器を触っていたものです。

消火器は、初期消火には非常に有効なものです。取り扱いを誤ると重大な事故につながります。事故を起こさないために、また、いざという時に使用できるように、消火器の適正な保管と日常的な点検を行います。

どうして破裂するの？

消火器には圧縮された二酸化炭素ボンベが内蔵されています。消火器レバーを握るとボンベが破られて、本体内部に二酸化炭素が充填し、その圧力で薬剤が放出されます。

消火器本体やキャップにサビや変形があると、その部分が圧力に耐えられず破裂が起こります。

点検してありますか？

一般家庭には消火器の設置や点検の義務はありませんが、消火器の一般的な耐用年数は五年～八年となっています。八年以内であっても、さびや傷などの異常がある場合には使用を避けてください。古くなった消火器（特にさびがあるもの）は無理に使用せず、取扱事業者に点検や廃棄を依頼しましょう。

消火器は、長期間放置したり湿気の多い場所等に設置していると、消火器内部の消火粉末が固まる可能性があるため、いざ使用する時に消火粉末が出てこないおそれがあります。定期的に消火器を傾けて、内部の粉末がサラサラ動いているか、耳を近づけて聞いてみてください。（消火粉末が固まる予防になります。）ただし誤って安全ピンを抜かないよう注意してください。

★消火器チェックポイント★

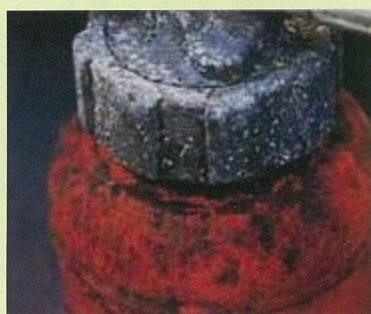
- ・耐用年数は過ぎていませんか？
- ・安全ピンはついていませんか？
- ・キャップに割れやゆるみはありませんか？
- ・さびや変形している場所はありませんか？
- ・ホースに詰まりやひび割れはありませんか？
- ・圧力ゲージ付き消火器は、圧力を示す針が規定値内（緑色の範囲）にありますか？

- 各地域の消防団では定期的に消火器取扱業者を呼び、ご家庭の消火器薬剤の詰替え・点検を行っています。
- 消火器の点検や廃棄処分に関するお問い合わせ先は、町消防本部・各消防団・社団法人日本消火器工業会（03-3866-6258）

こんな消火器はとっても危険！



さびて腐食している



表面が浮いている



変形している

編集後記

こんにちは。通算八号にして初の試み、編集後記です。第二分団の広報紙「人情火消し」はいかがでしたか？暇潰しに、あるいはふとしたきっかけで、読んでいただければ幸いです。

私は第二号から校正に携わっているので、足かけ七年もの間広報を作成していますから、結構頑張っています。

記事も以前のものと被らないよう心がけていますが、もう一杯一杯。しかし良いことも。それは紙面を自分の思うように作れること。記事が読みやすくなるようにと

か、工夫を入れたりとか、楽しんでます。広報作りに関して、自分がやれば早いからと頑張っていましたけれど、それだと後任が育たないため、今後は少しずつ譲っていきたいと思います。

これは消防団も仕事も、同じことが言えますよね。よし、どんな後輩を育てよう。結びにあたりまして鳥栖・三養基地区消防事務組合様、鶴岡市消防本部様、快く資料提供に際していただきましてありがとうございます。この場を借りてお礼申し上げます。

【★】



新入団員募集中です！

安全・安心な高峰地区を目指して！

第二分団では、現在一緒に活動してくれる団員を募集しています。

「自分たちの地域は自分たちで守る！」という趣旨に賛同いただける方、消防団活動やボランティア活動に少しでも興味のある方は、自薦他薦を問いませんのでお気軽に町消防本部（285-3131）までお問い合わせください。

